

## 糖代謝検査

血糖	血糖値は、血液内のグルコース（ブドウ糖）濃度であり、体のエネルギー源として大切な役割をしています。主にインスリンというホルモンにより、血糖値は一定の範囲内にコントロールされており空腹時 109mg/dl 以下が標準です。110mg/dl 以上では糖尿病の可能性があり、糖負荷試験による精密検査をする必要があります。
HbA1c	ブドウ糖と結合した赤血球ヘモグロビンの割合です。過去 1～2 カ月間の平均的血糖値を反映するので、糖尿病患者の血糖値コントロールの評価に用います。また、6.5%以上であれば糖尿病と診断します。
血糖負荷試験	経口ブドウ糖負荷試験は、OGTT(オー・ジー・ティー・ティーと読みます)とも呼ばれ、糖尿病が疑われる患者を対象に行う検査です。75g のブドウ糖を溶かした水を飲んでもらい、飲む前と飲んだ後で血糖値がどのように変動するかを調べることで糖尿病かどうかを診断します

### 経口ブドウ糖負荷試験の判定基準

判定	空腹時（負荷前）血糖値		負荷後 120 分値
正常型	110mg/dL 未満	および	140mg/dL 未満
糖尿病型	126mg/dL 以上	または	200mg/dL 以上
境界型	上記のいずれにも属さないもの		

（日本糖尿病学会：1999 年）